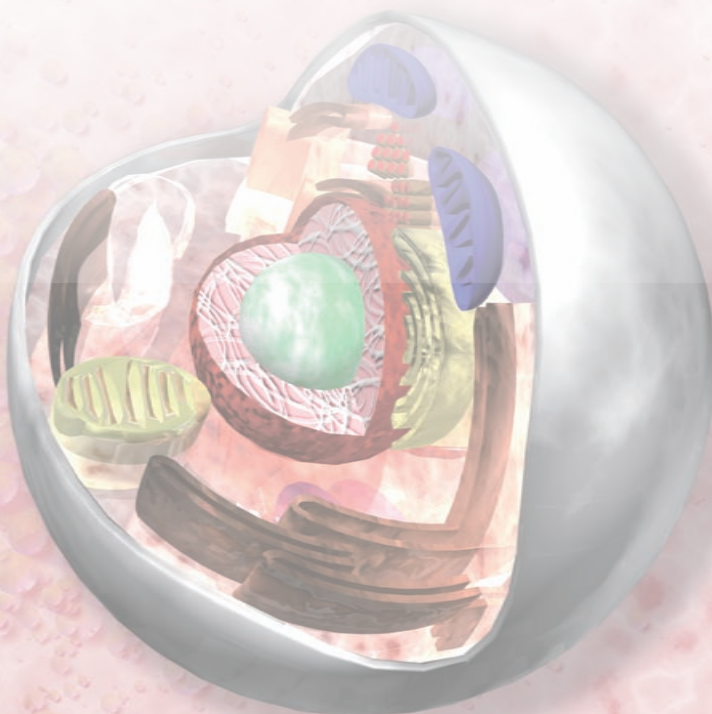


## 9. おわりに

本書は、細胞培養ガイドブックとして書かれています。ガイドとは「案内する」とか「情報を提供して、手助けする」との意味ですので、決して教科書的なものではなく、あくまでも細胞培養を実施される研究者の方々に基本的な情報を提供し、それを研究に役立ててほしいと願ったものです。また、冒頭にも記載しましたように培養関連技術の進歩は目覚ましく、常に新しい手法が生まれています。本書の内容は、あくまでも基本的な培養技術の一例として認識し、その時々に対処する細胞に最適な培養方法を再度検討してもらえれば幸いです。

培養の相手は細胞という「生き物」です。その生きている相手と「会話」しながら最適なプロトコルを練り上げることが大事です。細胞も人と同様に個性がありますし、状態もその時々で様子が異なります。今日の細胞と明日の細胞がまったく同じ状態だとは誰も言い切れません。細胞と真正面から向き合い、眠りにつく時（凍結）、寝ている時（保存）、眠りから覚める時（融解）、移動する時（搬送）、増える時（培養）など、その時々と細胞と会話（観察）しながら、自らの研究に必要な機能を維持した細胞を育むことが、「細胞培養」と言えるのではないかと思います。

最後に、本書が皆様の研究の手助けとなることを、切に願っております。



## 参考資料

- ・黒木登志夫編集「培養細胞実験ハンドブック：細胞培養の基本と解析方のすべて」  
実験医学別冊（羊土社）
- ・中村幸夫監修「あなたの細胞培養、大丈夫ですか?!～ラボの事例から学ぶ結果を出せる  
培養力」西條薫、小原有弘編集
- ・許南浩編集・原著「細胞培養 なるほどQ&A 以外と知らない基礎知識 + とっさに役立つ  
テクニック」日本組織培養学会JCRB細胞バンク（羊土社）
- ・「Useful Information for Various Sizes of Cell Culture Dishes and Flasks」  
Thermo fisher Scientific  
<http://www.thermofisher.com/jp/ja/home/references/gibco-cell-culture-basics/cell-culture-protocols/cell-culture-useful-numbers.html>
- ・「Complete disassociation of adult pancreas into viable single cells through cold  
trypsin-EDTA digestion」Journal of Zhejiang University-SCIENCE B (Biomed &  
Biotechnol) 2013 14(7):596-603
- ・経済産業省「細胞・組織加工品の研究・開発におけるヒト細胞・組織の搬送に関する  
ガイドライン2012」
- ・高尾幸成（2013）「iPS細胞技術と知的財産」『パテント vol.66 No.13』pp116-130
- ・医薬品医療機器等法／医薬品医療機器等法施行令／医薬品医療機器等法施行規則
- ・細胞培地Q&A DSファーマバイオメディカル  
<http://www.dspbio.co.jp/cell-science/techqa/cell>

編集：山谷雅和／ワケンビーテック株式会社・開発センター

監修：小原有弘／国立開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所  
JCRB細胞バンク（培養資源研究室）

協力：横井宏理／横井特許事務所

上田忠佳／DSファーマバイオメディカル株式会社

（敬称略）